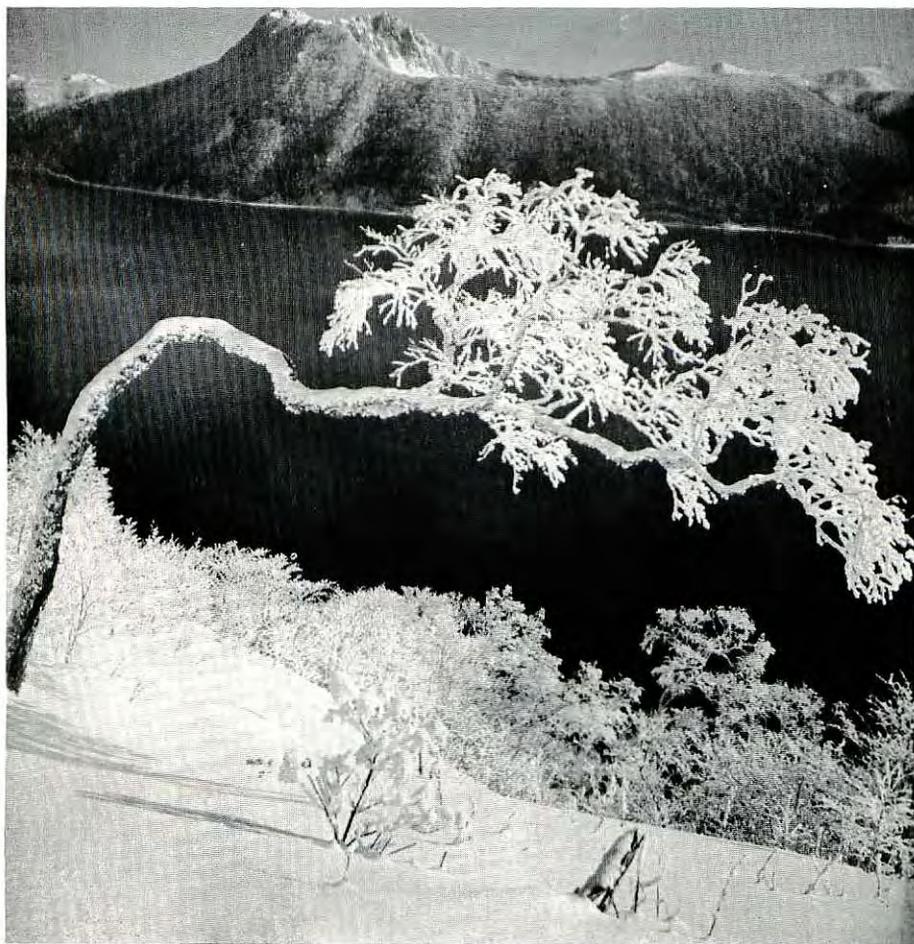


北海道議會時報

第 19 卷 第 12 号

昭和 42 年 12 月



北海道議會事務局

北海道議會時報第19卷第12号(昭和42年)

----- 第 12 号 目 次 -----

議 会 の 動 き

常 任 委 員 会	1
特 別 委 員 会	5
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北海道百年記念事業特別委員会	
札幌オリンピック冬季大会特別委員会	

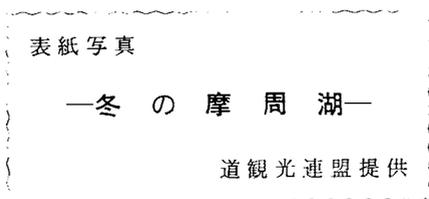
会 合

全国都道府県議会議長会	6
都道府県議会議員共済会	6
10都道府県議会議長会	6

資 料

第3回定例道議会の議決を経た条例の公布調	7
大臣・次官一覧	7
衆・参正副議長、常任・特別委員長一覧	8
政党幹部一覧	9

11 月 の メ モ



議会の動き

常任委員会

総務委員会

○11月2日 午前11時17分、第1委員会室において開議、
午後1時42分散会、委員長 神部 俊郎(自民)

一般議事

- ① 青木副委員長(社会)から、公務員の給与改定および交通安全対策費の財源措置要望に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、議事進行の都合により午前11時25分休憩、午後1時35分再開。
- ② 総務部次長(浅井)から、道工業試験場の火災について説明および遺憾の意の表明があつた後、
青木副委員長(社会)から、1,000万円の応急措置の内容、全面改修および器材等の早期復旧について質疑および要望があり、総務部次長(浅井)から答弁。
- ③ 道6者団体による寒冷地手当増額支給要望のため中央折衝について委員を派遣することをはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員および日程については、委員長に一任することとした。

○11月24日 午前11時20分、第1委員会室において開議、
午後1時8分散会、委員長 神部 俊郎(自民)

一般議事

- ① 池島委員(社会)から、寒冷地手当増額支給に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承。
- ② 人事委員会事務局長から、昭和42年道職員の給与に関する報告および給与改定に関する勧告について説明の後、
池島委員(社会)から、実施時期の明示、給与表の独自性、国に準じて措置する良否、人事委の意思が表明されていないことに対する見解、住宅手当を新設しない理由および地方自治法改正に対する考え方、
竹内委員(社会)から、職員団体との交渉等について質疑、人事委員長、総務部長から答弁。
- ③ 企画部次長から、公害対策の概要について説明の後、

野村委員(公明)から、札幌市のアリューサンガスによる人体影響と対策、大気汚染の病的被害状況、今後の規制の仕方および財政措置等の勧告に対する考え方、

竹内委員(社会)から、騒音防止に対する積極的推進対策、騒音防止係等設置に対する見解、

徳中委員(自民)から、海水汚染対策の状況、

青木委員(社会)から、公害対策の財政的措置および中小企業対策等に対する措置

等について質疑、意見および要望があり、企画部次長から答弁。

- ④ 他府県の地方行政制度ならびに警察施設整備状況等視察調査を実施することとし、派遣時期、派遣委員等については、委員長に一任することに決定。つぎに、委員会終了後、本庁新庁舎および警察施設等を視察することとした。

- ⑤ 青木副委員長(社会)から、地方交付税税率の引き下げおよび都市手当の新設に対する見解、

野村委員(公明)から、道職員の汚職事件が過日新聞報道されているが、その経緯および考え方等について質疑、総務部長から答弁。

厚生委員会

○11月6日 午前10時53分、第3委員会室において開議、
午前11時15分散会、委員長 岩田 徳治(自民)

一般議事

- ① 合坪委員(社会)から、43年度厚生省関係国費予算等に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承。
- ② 衛生部長から、結核患者の推移について説明。
- ③ 委員長から、道外厚生事情調査実施についてはかり、異議なく決定、派遣時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 民生部長、保健予防課長から、社会福祉施設における赤痢の発生状況、感染経路等の大要について説明。
- ⑤ 衛生部長から、公衆浴場入浴料金審議会の委員名簿および委員構成について説明の後、
合坪委員(社会)から、委員構成の比率および変動に対する方針、
新川委員(社会)から、共同募金の実績、傾向等の資料の提出方等について質疑および要求があり、衛生部長から答弁。

○11月27日 午前11時54分、第1委員会室において開議、

午後零時43分散会、委員長 岩田 徳治(自民)

一般議事

- ① 合坪委員(社会)から、石川、島根、広島、愛知県各県における厚生事情の視察調査経過について報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 民生部長から、耳鼻咽喉科医師の保険医辞退問題および共同募金の実績等について説明の後、
新川委員(社会)から、41年度の実績7,100万円と福祉協会財政調べ配分金7,400万円との関連性、42年度目標額1億1,800万円の配分計画および実績に対する配分計画等について質疑および要求があり、民生部長から答弁。
- ③ 衛生部長から、前回の委員会で要求のあつた北海道公衆浴場入浴料金審議会委員名簿および委員の補充選任ならびに改定申請内容、審議経過等について説明。
- ④ 新川委員(社会)から、母子健康センター運営に関し、産婦人科医、嘱託医のいないところがあるが、その実態および対策ならびに医師会、助産婦会との関連、
合坪委員(社会)から、蒙古症対策に関し、特効薬について保険がきかないというが、北海道の事例の有無および対策等について質疑および要求があり、衛生部長から答弁。

商工労働委員会

○11月6日 午前11時54分、第3委員会室において開議、
午後零時34分散会、委員長 湯田 倉治(社会)

一般議事

- ① 商工部長から、10月25日発生の道立工業試験場庁舎の一部火災事故について説明および遺憾の意思表示があつた。
- ② 佐藤(幹)委員(自民)から、木材化学(株)の清算等に関し、今日までの経緯および道の対策、小口債権者に対する配慮、土地を提供した零細農家も助成措置の対象となることの有無、
委員長から、道策会社の概要に関する資料の提出方についてそれぞれ質疑、意見および要求があり、商工部長から答弁。
- ③ 笠島委員(社会)から、最近の主な倒産会社の雇用状況関係資料の提出方および貿易関係者との懇談等窓口を広げることの検討方、

高橋(俊)委員(社会)から、アノマの労働環境実態把握と改善指導方策、

委員長から、本委員会にアノマ等呼び、懇談をしながら対策を考える方法、

阿部(文)委員(自民)から、貿易館の問題に関し、予算措置、人員強化の検討および貿易物産振興会との関連に関する資料の提出方

等について質疑、意見および要求があり、労働部長から答弁、委員長から応答。

- ④ 本日、札幌市内商工関係施設の視察を行なうことならびに他府県において開催の本道物産展の視察調査に併せ、食料品の流通近代化資金制度問題に関する中央折衝を実施することとし、派遣時期、派遣委員等については委員長に一任することに決定。
- ⑤ 12月9日にアノマ関係の問題および貿易問題等に関する懇談会を開催することに決定。

農務委員会

○11月6日 午前10時43分、第2委員会室において開議、
午後2時46分散会、委員長 堀田 毅(自民)

一般議事

- ① 笠井委員(社会)から、道内に黒蝕米がでて政府の買い上げ対象にならない旨報道されているが、当該農家に対する措置および現地の実態把握状況について質疑および要望があり、農務部次長から答弁。
- ② 高橋(正)委員(自民)から、大豆基準価格、てん菜糖価格、家畜伝染病予防法一部改正要望等に関する中央折衝の経過について報告、農務部次長からも説明があり、異議なくこれを了承。
- ③ 農務部次長から、畑作農業振興特別措置制度の現状等について説明の後、
新村委員(社会)から、道案が宙に浮くことのないようにしてもらいたい、これに対する所信等について質疑および要望があり、農務部次長から答弁。
- ④ 農務部次長から、糖安法の一部改正問題について説明の後、
小堀委員(社会)から、本年の砂糖買い入れ価格は前年に比し、2円も安く決められたが、北海道の実態に即するようはねかえしておかなければならないが、これに対する考え方、
三上委員(自民)から、反収は年々上昇するという考え方に立つて長期生産計画がたてられているが、実際に年々上昇する形になるのかどうか、43年以降ビート

の反収を増加させるための対策、甘味資源特別措置法第4条により、国が、てん菜生産振興地域の指定を行なっているが、その地域のビート工場が閉鎖された場合、ビート生産との関連、

新村委員(社会)から、生産者団体が要望している補給金制度に対する見解

等について質疑および要望があり、農務部次長から答弁、ついで畑作農業振興特別措置制度および糖安法の一部改正に関する中央折衝を実施することに決定、派遣時期、派遣委員については委員長に一任することとした、午後零時10分休憩、午後1時9分再開。

⑤ 大方委員(社会)から、種子ばれいしよのXウイルス無毒化の問題に関し、農家は危惧しているが、これが具体的内容、増殖したものの配分状況、今後のPR等普及措置に対する見解、Xウイルスが多発した場合の責任の所在、指定乳製品輸入差益金問題に関し、本道に対する割り当て枠が予想より下回った理由、都道府県特殊メニューとして留保されているが、道は何を出すのか、割り当て枠の増枠要請および今後の前向けの姿勢、人工授精事業の合理化問題に関し、酪農近代化計画の中に、具体的な合理化計画が打ち出されていないが、これに対する見解、将来の構想の明示等について質疑および要望があり、農務部次長、酪農草地課長、農産園芸課長から答弁。

⑥ 小堀委員(社会)から、はつかの消流対策に関し、本年、はつかの価格が30%も値下りした反面、あと2、3年のうちに1,000ヘクタール程度作付けが増加する見通しにあるが、今後のはつか耕作に対する考え方、現在のとっている行政的措置について質疑、農務部次長から答弁。

⑦ 新村委員(社会)から、塩化ビニールの薬害問題に関し、道の検討、研究している内容、農家負債整理問題に関し、本州方面の旱害等により、本道に対する自作農維持資金の枠が確定していないと聞くが、これに対する見解、系統、道、市町村で利子負担をすることになつているが、市町村からなぜ相談をしなかつたかとの声がでている、末端町村に対しどのような措置をしたか等について質疑、意見および要望があり、農務部次長、農産園芸課長から答弁。

本日聴取した陳情

北海道園芸農業振興に対する道費予算措置について
北海道園芸団体協議会
北海道果樹協会
北海道玉葱振興協会
北海道野菜生産出荷対策協議会

建設委員会

○11月6日 午前11時49分、第4委員会室において開議、
午後零時15分散会、委員長 池田 金助(自民)

一般議事

① 渡辺(浩)委員(社会)から、治水事業促進に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承。

② 渡辺(浩)委員(社会)から、札幌市内のとうきび売り露店認可についての口頭陳情に関し、4者会議の経過と内容、観光協会のみ認められた経過と見解、生活権に対する影響、4者会議による配慮と不公平のない取り組み方、市の折衝方法に対する配慮、

津川委員(公正ク)から、観光協会との話し合いについて質疑、意見および要望があり、土木部長から答弁。

本日聴取した陳情

札幌市内のとうきび売り露店認可について

北海風物保存会代表

留寿都村、真狩村内三ツ原豊浦線を道道に認定について

留寿都村助役

農地開拓委員会

○11月7日 午前11時9分、第3委員会室において開議、
午前11時59分散会、委員長 山田 勲(社会)

請願、陳情の審査

請願

第41号 新篠津村西高倉地区かんがい工事施行の件
(保留)

一般議事

① 木南委員(共産)から、岡山、広島、熊本各県の農地開拓事情視察経過概要についての報告を聴取。

② 43年度農地開拓関係国費予算中央折衝を11月16日から実施することとし、派遣委員等については、委員長一任とすることを決定。

③ 道下委員(社会)から、開発予算に関し、要求額の削減があるように聞いているが、その事情について質疑、農地開拓部次長から答弁。

水産委員会

○11月6日 午前10時55分、議会運営委員会室において開議、午前11時10分散会、委員長事故のため、副委員長 武藤 正春(社会)

一般議事

松浦委員(自民)から、オホーツク海におけるサケ、マス資源の調査、沿岸漁場開発整備法(仮称)の制定促進、小型サケ、マス漁船の増トン、釧路のサケ、マス漁業基地の出港制限緩和等に関する中央折衝の経過について報告を聴取後、本日より予定の道内調査を実施することとした。

文教林務委員会

○11月6日 午前11時50分、第1委員会室において開議、午後1時29分散会、委員長 渡部 勇雄(社会)

請願、陳情の審査

陳情

第25号 北海道恵庭南高等学校の学級増設の件

(採択)

第26号 北海道留辺蘂高等学校の学級編制現状維持の件

(採択)

第45号 北海道美南高等学校の存置の件

(採択)

一般議事

① さきの委員会において要求のあつた「定時制・通信制教育のモデル校に関する調」の資料提出があつた旨を報告、陳情聴取のため午前11時53分休憩、午前11時58分再開。

② 教育長から、昭和43年度公立高等学校の適正配置計画について説明を聴取の後、

杉本(省)委員(社会)から、地元の了解、意見の尊重と十分な話し合い、本計画の教育委員会決定の有無、都市形態の変化による人口増に対応する学級増の考え、

西尾委員(自民)から、地元の十分な理解を得るよう今後の措置方、

山下委員(社会)から、話し合いの適否と幅のある進め方、へき地における教育の機会均等の検討と長距離通学による経済的負担の配慮、教職員の住宅対策、通信教育に対する方策、急増対策と適正配置の関連づけ等について質疑、意見および要望があり、教育長から答弁。

③ 網走港の木材輸入特定港の指定に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく実施することに決定、

派遣委員および日程については、正副委員長に一任することとした。

④ 林委員(自民)から、北教組が作成し子供に頒布している夏休み帳、冬休み帳に対する道教委の考え方と対策、教育研究所でローカルカラーをおり込んだ休み帳を作成する考え、北教組の教科書抽出書き替え運動についての見解と対策、

西尾委員(自民)から、学校火災に関し、防火施設の計画的措置と水利に対する考慮、ガードマン方式をとり入れた釧路の火災についての調査の経過と結果および釧路市に対する指導、

高橋(辰)委員(自民)から、高校の囲碁、将棋クラブを認めている関係資料の提出方について質疑、意見および要求があり、教育長および学校管理課長から答弁。

本日聴取した陳情

函館商業高等学校に貿易科の設置について

函館市教育長

帯広大正高等学校(市立、定時制)の存置について

帯広市議会議員

美唄南高等学校の間口減反対について

美唄市長

特別委員会

本日聴取した陳情

原子力発電所建設立地調査の実施について

島 牧 村 長

総合開発調査特別委員会

○11月9日 午前11時10分、第1委員会室において開議、
午後2時3分散会、委員長 深山 和圀(自民)

- ① 道央地区総合開発事情の調査日程についてはかり、異議なく理事会協議のとおり決定。
- ② 企画部長から、経済審議会地域部会の地域経済予測について説明を聴取の後、

青木委員(社会)から、これに対する今後の施策、本報告の調査主体、道の反論、反証の考え、

井口委員(社会)から、第2期計画において既にひずみが生じているので、このひずみ解消対策には、政府の推移を見てやるのではなく、積極的な措置が必要、抜本的に姿勢をかえて予測の方向を歯どめする対策の考え方、

大石委員(社会)から、道の自主的解明と積極的な対処、2期計画の具体的な予測、

村本(政)委員(社会)から、本道の特殊性と全国視野に立つた本道の役割り、開発庁と地域部会の数字の基礎、45年の本道人口予測、2期計画の人口が伸びない要因、20年後の開発の変化、道独自の開発ビジョンと年次別計画の目途、40年以降の開発、経済の状況、人口動向の達成率と見込みの資料、

川口委員(自民)から、数字の差に対する資料の検討、

改発委員(自民)から、地域部会報告の受け止め方と対処策を検討し、要求する体制の考え方、2期計画との対比等

について質疑、意見、要望および要求があり、企画部長から答弁。

- ③ 青木委員(社会)から、国鉄路線に関し、国鉄第3次長期計画と新線建設の促進、既設路線を廃止しないことおよび冬期輸送の確保と防災体制の強化に対する積極的な働きかけと政府関係機関に対する要請、国内航空に関し、基本運行計画、国内航空に移管の際の覚え書きと会社に対する積極的要請、定期運航できない責任、原子力問題に関し、利用価値と本道開発との関連についての基本調査の必要性和平和的利用の具体的事業、既設ダム発電との関連と将来の見通し等について質疑、意見および要望があり、企画部長から答弁、大石委員(社会)および佐々木(利)委員(自民)から国鉄路線に関する要望および中央折衝について意見の交換があり、委員長から応答。

石炭対策特別委員会

○11月22日 午後2時10分、第4委員会室において開議、
午後2時32分散会、委員長 福島 新太郎(自民)

- ① 小川委員(自民)から、石炭対策および産炭地振興に関する要望ならびに石炭対策全国道県議会連絡協議会の経過について、山下副委員長(社会)から、石炭全国大会準備会の経過についてそれぞれ報告、異議なくこれを了承。
- ② 10月30日開催の石炭政策、産炭地振興全国総決起大会に参加することおよび参加委員数を自民4名、社会3名とすることをはかり、異議なくそのことに決定、ついで、12月1日開催の国会議員、通産、自治、労働各省別懇談会に参加することおよび国会議員の出席依頼のため自、社両党から各1名上京することをはかり、異議なくそのことに決定。

北海道百年記念事業特別委員会

○11月8日 午前11時10分、第1委員会室において開議、
午後零時50分散会、委員長 伊藤 弘(自民)

- ① 遠藤委員(社会)および杉本(栄)委員(自民)から、都府県の博物館および森林公園等の調査概要についてそれぞれ報告、ついで、委員長から、「北海道百年記念式典に天皇、皇后両陛下の御臨幸懇請」に関し議長とともに宮内庁長官その他関係者に懇請した旨を報告、異議なくこれを了承。

- ② 事務局長から、北海道開拓記念館試案および北海道百年記念スポーツ地方大会要領案について説明の後、杉本(栄)委員(自民)から、記念館展示に関し、ニンソ漁場をあげている理由、コンプに対する検討、岡田(義)委員(社会)から、記念館に関し、保存と学究的なものとの関連、目的と方向の明確化、建設後の運営、道と各地の記念事業の実施内容の調整と各地の行事の調査、

松尾委員(自民)から、道立の総合競技場、体育館の設置計画の有無、美術館、博物館の設置構想と小委員会の設置、スポーツセンターの拡張計画、

高田委員(社会)から、野幌森林公園の将来計画、オ

オリンピック施設あとの利用計画と真駒内定鉄沿線南側地域の利用計画と小委員会における検討方、記念館、記念塔に対する予算の構想と明年度の予算規模、

林委員(自民)から、記念館構想の決定の有無と博物館との相違、動物を加えることの検討、

水島委員(社会)から、博物館としての検討と民族発生の調査、研究

等について質疑、意見および要望があり、事務局長から答弁、委員長から、美術館等に対する小委員会設置の取り扱いについて理事会に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

- ③ 事務局長から、赤レンガ庁舎の復元改修と旧北海道庁庁舎としての史蹟指定ならびに記念塔設計の応募状況について説明。

札幌オリンピック冬季大会特別委員会

〇11月13日 午後2時7分、第1委員会室において開議、午後2時47分散会、委員長 中山 信一郎(自民)

- ① 総務部長から、札幌オリンピック冬季大会招致経緯および大会準備体制の経過ならびに今後の問題点等について説明の後、

合坪委員(社会)から、競技場施設の建設時期、苫小牧スケート練習場の完成に伴い、選手の強化合宿経費は地元負担となるのかどうか、寄附金の運営に対する考え方およびこれらの経費の配分先、

奈良委員(自民)から、喜茂別町の選手強化施設に対する補助の見通し、

池島委員(社会)から、国の補助率が3/4にならなかつた場合の措置および練習場の地元負担の割り合い、

石林委員(自民)から、寄附金の募集方法に対する道の考え方、

高田委員(社会)から、オリンピック東京大会における寄附金募集関係資料の提出方

等について質疑、意見および要望があり、総務部長から答弁。

- ② 委員長から、札幌オリンピック競技会場予定地視察についてははかり、16日午後零時30分から行なうことに決定。

- ③ つぎに、中央折衝については、明年度予算編成時期でもあり、今日までの札幌市の折衝経緯等もあり、これらを勘案の上行なうこととし、中央折衝要望事項ならびに日程等を理事会において検討することとし、これらの取り扱いを委員長に一任することに決定。



全国都道府県議会議長会

〇11月11日 都道府県会館において幹事会を開催、会長あいさつの後、協議に入り、昭和43年度本会歳入歳出予算編成方針の大綱を原案どおり可決して閉会した。

都道府県議会議員共済会

〇11月11日 都道府県会館において理事会を開催、会長(広島県議長)のあいさつの後、欠員中の副会長に神奈川県議長を選任、ついで昭和43年度共済会収支予算編成方針の大綱を原案どおり可決して閉会した。

10都道府県議会議長会

〇11月13、14日の両日 神奈川県において開催、つぎの事項について協議し、関係方面に要望することとした。

- 1 大規模家畜ふん尿処理施設設置事業に対する国庫補助について
- 2 地方市場の整備、強化について
- 3 文化財並びに自然保護について



第3回定例道議会の議決を経た条例の公布調

件名	議決月日	公布月日 公布番号
札幌医科大学条例の一部を改正する条例	42.10.21	10.26 道条例第36号
北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例	同	同 道条例第37号

北海道身体障害者更生援護施設設置条例の一部を改正する条例	同	同 道条例第38号
北海道水産業協同組合整備育成審議会条例の一部を改正する条例	同	同 道条例第39号
北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	同	同 道条例第40号
財団法人札幌オリンピック冬季大会組織委員会の業務に従事する職員の身分取扱いの特例に関する条例	同	同 道条例第41号
北海道部設置条例の一部を改正する条例	同	同 道条例第42号
保健所設置条例等の一部を改正する条例	専決処分 42.10.6	9.30 道条例第35号

大臣・次官一覧

(42.12.7 現在)

大臣	政務次官	事務次官			
内閣総理	佐藤栄作	山口 2			
法務	赤間文三	参 大阪			
外務	三木武夫	徳 島			
大蔵	水田三喜男	千葉 3			
			倉成 正	長崎 1	谷村 裕
			二木謙吾	参 山口	
文部	灘尾弘吉	広島 1	久保田 円次	群馬 1	斎藤 正
厚生	園田 直	熊本 2	谷垣 専一	京都 2	山本 正淑
農林	倉石忠雄	長野 1	安倍 晋太次	山口 1	武田 誠三
			日高 広然	参 全国	
通商産業 (万国博担当)	椎名悦三郎	岩手 2	藤井 勝志	岡山 2	山本 重信
			熊谷 太三郎	参 福井	
運輸 (新東京空港担当)	中曾根 康弘	群馬 3	金子 岩三	長崎 2	佐藤 光夫
郵政	小林 武治	参 静岡	高橋 清一郎	新潟 1	浅野 賢澄
労働	小川 平二	長野 3	井村 重雄	石川 1	三治 重信

建設省 (首都圏近畿圏中部圏整備 長官・研究学園都市担当)	保利 茂	佐 賀	仮 谷 忠 男	高 知	尾之内 由紀夫
自治 (国家公安委員長)	赤 沢 正 道	鳥 取	細 田 吉 蔵	島 根	柴 田 護
行政管理局長官 北海道開発庁長官	木 村 武 雄	山形 1	森 部 隆 輔 川 野 三 暁	参 福岡 参 全国	稲 木 進 小 熊 清
科学技術庁長官	鍋 島 直 紹	参 佐賀	天 野 光 晴	福島 1	井 上 啓次郎
防 衛 庁 長 官	増 田 甲子七	長野 4	三 原 朝 雄	福岡 2	小 幡 久 男
経済企画庁長官	宮 沢 喜 一	広島 3	山 下 春 江	参 全国	川 出 千 速
官 房 長 官	木 村 俊 夫	三重 1	官房副長官	亀 岡 高 夫 石 岡 実 (事務担当)	福島 1
総理府総務長官	田 中 竜 夫	山口 1	総務副長官	八 木 徹 雄 堀 秀 夫	愛媛 2

衆・参正副議長、常任・特別委員長一覧

(42.12.7 現在)

区 分	衆 議 院	参 議 院
議 長	石 井 光 次 郎	(自) 福岡3 重 宗 雄 三 (自) 全 国
副 議 長	小 平 久 雄	(自) 栃木2 河 野 謙 三 (自) 神奈川
内 閣 委 員 長	三 池 信	(自) 佐 賀 豊 田 雅 孝 (自) 全 国
地方行政委員長	亀 山 孝 一	(自) 岡山1 仲 原 善 一 (自) 鳥 取
法 務 委 員 長	大 坪 保 雄	(自) 佐 賀 北 条 雋 八 (公明) 全 国
外 務 委 員 長	福 田 篤 泰	(自) 東京7 三 木 与 吉 郎 (自) 徳 島
大 蔵 委 員 長	内 田 常 雄	(自) 山 梨 竹 中 恒 夫 (自) 全 国
文 教 委 員 長	床 次 徳 二	(自) 鹿児島1 大 谷 藤 之 助 (自) 全 国
社会労働委員長	川 野 芳 満	(自) 宮崎1 山 本 伊 三 郎 (社) 全 国
農林水産委員長	本 名 武	(自) 北海道5 野 知 浩 之 (自) 全 国

商工委員長	島村一郎	(自)東京10	鹿島俊雄	(自)全国
運輸委員長	内藤隆	(自)富山1	天坊裕彦	(自)全国
通信委員長	松沢雄蔵	(自)山形2	森中守義	(社)全国
建設委員長	森下国雄	(自)栃木2	藤田進	(社)広島
予算委員長	植木庚子郎	(自)福井	新谷寅三郎	(自)奈良
決算委員長	鍛冶良作	(自)富山1	亀田得治	(社)大阪
議院運営委員長	坪川信三	(自)福井	徳永正利	(自)全国
懲罰委員長	綱島正興	(自)長崎2	林虎雄	(社)長野

災害対策特別委員長	田原春次	(社)福岡4	伊藤顕道	(社)群馬
公職選挙法改正に関する調査特別委員長	小沢佐重喜	(自)岩手2	(公職選挙法改正特別委員長) 高橋文五郎	(自)宮城
科学技術振興対策特別委員長	沖本泰幸	(公明)大阪1		
産業公害対策特別委員長	八木一男	(社)奈良	(産業公害・交通対策特別委員長) 松沢兼人	(社)兵庫
物価問題等特別委員長	戸叶里子	(社)栃木1	(物価等対策特別委員長) 桜井志郎	(自)富山
沖繩問題等特別委員長	白井莊一	(自)千葉1	山本利寿	(自)島根
石炭対策特別委員長	多賀谷真稔	(社)福岡2	鈴木寿	(社)秋田
交通安全対策特別委員長	山下栄二	(民社)兵庫2		

政 党 幹 部 一 覧

(42.12.7現在)

自由民主党

総 裁	佐藤栄作	山口 2	副 総 裁	川島正次郎	千葉 1	
幹 事 長	福田越夫	群馬 3				
副 幹 事 長	瀬戸山三男	宮崎 1	佐々木秀世	北海道 2	桜内義雄	島 根
	福永一臣	熊本 2	堀本宣実	参 愛媛		
総 務 会 長	橋本登美三郎	茨城 1				

国会対策委員長	長谷川 四 郎	群馬 2				
政務調査会長	大 平 正 芳	香川 2				
副 会 長	坂 田 道 太	熊本 2	山 中 貞 則	鹿児島 3	中 馬 辰 猪	鹿児島 2
	原 田 憲	大阪 3	塩 見 俊 二	参 高知		
財 務 委 員 長	菅 野 和 太 郎	大阪 1	全国組織委員長	辻 寛 一	愛知 6	
広 報 委 員 長	長谷川 峻	宮城 2	党 紀 委 員 長	船 田 中	栃木 1	
— 参 議 院 自 由 民 主 党 —						
議 員 会 長	林 屋 龜 次 郎	石 川	幹 事 長	迫 水 久 常	全 国	
国会対策委員長	田 中 茂 穂	鹿 児 島	政策審議会長	梶 原 茂 嘉	全 国	

日 本 社 会 党

中央執行委員長	勝間田 清 一	静岡 2				
副 委 員 長	河 野 密	東京 9	江 田 三 郎	岡山 2		
書 記 長	山 本 幸 一	岐阜 1				
国会対策委員長	柳 田 秀 一	京都 2				
政策審議会長	木 村 禮 八 郎	参 東京				
— 参 議 院 日 本 社 会 党 —						
議 員 会 長	椿 繁 夫	大 阪	国会対策委員長	大 和 与 一	群 馬	

民 主 社 会 党

中央執行委員長	西 村 栄 一	大阪 5	書 記 長	春 日 一 幸	愛知 1	
国会対策委員長	佐々木 良 作	兵庫 5	政策審議会長	竹 本 孫 一	静岡 3	
— 参 議 院 民 主 社 会 党 —						
議 員 会 長	片 山 武 夫	全 国				

公 明 党

委 員 長	竹 入 義 勝	東 京 10				
副 委 員 長	北 条 浩	参 東 京	白 木 儀 一 郎	参 大 阪		
書 記 長	矢 野 絢 世	大 阪 4				
国会对策委員長	大 野 潔	東 京 7	政 策 審 議 局 長	浅 井 美 幸	大 阪 2	
— 参 議 院 公 明 党 —						
議 員 団 長	小 平 芳 平	全 国	国会对策委員長	田 代 富 士 男	大 阪	

日 本 共 産 党

中央委員会議長	野 坂 参 三	参 東 京	国会对策委員長	林 百 郎	長 野 3	
書 記 長	宮 本 頭 治		国會議員団長	川 上 貫 一	大 阪 2	

11月のメモ

- 1 ○札幌通産局、42年の本道経済および道内鉱工業の見通しを修正、実質経済成長率、当初対前年比 8.6%増を 9.8%増に修正。
- 3 ○政府、42年秋の叙勲および賜杯（生存者）受章者を発表、受章者全国2,641人、本道からは112人、沖繩から初の9人受章。
- 4 ○文化財保護委員会、道庁赤レンガおよび開拓使庁舎基礎クイ跡を史跡に指定。
- 6 ○道教委、43年度公立高校適正配置計画（高校再編成計画）を最終決定、募集1,800人減、全道15学級減。
- 7 ○ソ連、「10月革命」50周年祝賀。
○消防庁、消防白書を発表、火災件数（4万8,057件）は減少、死者（1,111人）は戦後最高、本道は2,296件で死亡96人。
- 9 ○国土開発幹線自動車道審議会、札幌～千歳間等新規路線を加える新基本計画と東北・北陸・中国縦貫道の整備計画を決定。
- 10 ○山村振興審、山村振興の第3次指定、本道は平取など10カ町村、全国140地域。
- 11 ○道人事委、道職員給与勧告、平均3,485円、7.3%引き上げ、3月の期末手当0.1カ月分増額。
- 12 ○佐藤首相訪米。
- 13 ○札幌市、新庁舎、区制構想を発表。
○道、除雪対策をまとめる、市街地排雪を強化、昨年より500キロふやす、新たに48路線を加える。
- 16 ○日米共同声明発表、1年以内に小笠原返還。
- 17 ○地方自治法施行20周年記念式典挙行、256 団体表彰（東京・日比谷公会堂）。
○道教委、10.26 スト参加教職員に賃金カット、対象者1万3,274人。
- 19 ○英国ポンド14.3%切り下げを公式発表、公定歩合8%引き上げ。
- 22 ○郵政省、郵便番号制度実施要領を発表（43年7月から実施）。
- 24 ○科学技術庁、42年科学技術白書を発表、研究開発の総合化を、課題は研究投資の増大。
- 25 ○佐藤改造内閣成立、道開発庁長官に木村武雄氏。
○自衛隊、別海村矢白別演習場で R30 型 ロケット実射。
- 30 ○全国産炭地振興総決起大会開催、5,000 万トン出炭体制の維持等6項目を決議。

昭和42年12月20日発行

北海道議会時報 (第19巻)
第12号

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局